

Press Release
【報道関係各位】

2020年6月11日
ポーラ美術館

キュビズムの巨匠 フェルナン・レジェの新収蔵作品を初公開！ テーマ展示「LÉGER & ART DÉCO 100 年前の未来」

アール・デコの化粧道具や短編映画も展示 2020年6月1日(月)～11月3日(火・祝)

ポーラ美術館は6月1日(月)より開始したテーマ展示「LÉGER & ART DÉCO (レジェ アンド アール・デコ) 100 年前の未来」にて、新収蔵作品のフェルナン・レジェ(1881-1955)《鏡を持つ女性》を初公開しました。

レジェはピカソ、ブラックらと共に20世紀を代表するキュビズムの巨匠とされるフランスの芸術家です。今から100年ほど前、パリで建築の製図工として働きながら絵画を学んだレジェは、機械に造形的な美を見出す「機械の美学」を基軸に、急激に産業化した同時代の風景を、製図や工業製品の生産技術を意識した新たな形式で描き出しました。



《鏡を持つ女性》は、球や円筒形、直方体などの幾何学的な形が、白、黒、赤、青、黄、緑色に塗られ、複雑に組み合わせられた絵画作品です。レジェが示した世界は、技術革新により扉が開かれた進歩への興奮と機械礼賛の輝きに満ちあふれています。今回、レジェの油彩作品がはじめて当館のコレクションに加わりました。当館のレジェ・コレクションは、版画を含め2点となります。

フェルナン・レジェ 《鏡を持つ女性》1920年 油彩/カンヴァス

テーマ展示「LÉGER & ART DÉCO 100 年前の未来」では、新収蔵作品とともにレジェの短編映画『バレエ・メカニック』や版画作品をご覧ください。また、レジェの作品テーマである「鏡を見る女性」に関連して、同時代にヨーロッパを席卷したアール・デコの装飾様式の手鏡や化粧道具のほか、この時期に活躍した工芸作家ルネ・ラリックのガラス香水瓶の名品と共にご紹介します。



ルネ・ラリック
《桑の実形栓付香水瓶》
1920年 原型制作



《ガラス化粧セット》1920-1940年代



香水瓶「1925」
1925年 ロジーヌ

■「LÉGER & ART DÉCO 100 年前の未来」展・みどころ

今から約100年前、機械を新時代の象徴と捉える機械時代(マシン・エイジ)の到来にふさわしい、ふたつの大きな潮流がパリを中心に生まれました。純粋な造形を目指した芸術家フェルナン・レジェや建築家ル・コルビュジエによる「モダニズム(近代主義)」と、幾何学的なデザインの「アール・デコ」の装飾様式です。

レジェと同時代のデザイナーたちがそれぞれ生み出した工業製品に想を得たフォルムや、金属やガラスなど新時代の物質感の表現は、未来を志向する斬新さと力強さに買われています。近未来の世界を豊かに想像して創り出された「100年前の未来」の美をご堪能下さい。

(本展は「モネとマティス」展の会期中、常設展示室にて、11月3日(火・祝)まで開催します)

■ 作品解説

フェルナン・レジェ 《鏡を持つ女性》1920年

油彩/カンヴァス 55.6 x 38.7 cm

本作品は、鏡を示す楕円形を中心に、長い髪の女性の平面的な顔、円筒形の腕や指などヴォリューム感のあるパーツが、重力とは無関係に配されています。格子状の構図と、色あざやかな色面の配置からは、レジェが「キュビズム」や、モンドリアンらが所属したオランダの抽象芸術グループ「デ・スタイル」が用いた格子状のコンポジション(構図)を意識していたことがうかがえます。

第一次世界大戦後、戦地から帰還したレジェは、1920年に8点の鏡を持つ女性像のシリーズを制作しました。そのうちの5点が本作品と同じく「鏡を持つ女性」と名付けられ、他3点が「化粧をする女性」とされています。鏡をのぞきこみ、美と戯れる女性像のポーズは、西洋絵画の伝統的な主題としてさまざまな意味を込めて描かれてきました。レジェは、1910年代より建築現場や工場で働く労働者など、勇壮な姿に着目してきましたが、1920年に取り組んだ本シリーズを機に、女性像のテーマを開拓していきました。

■ フェルナン・レジェ Fernand Léger 1881-1955

ノルマンディー地方の町アルジャンタンに生まれる。パリで建築の製図工として働き、装飾美術学校や画塾に通い絵画を学ぶ。セザンヌのほか、ピカソ、ブラックのキュビズムや未来派の絵画に触発され、単純なフォルムと明快な色彩を追究する。1911年にキュビズムのグループ「セクション・ドール」(黄金分割)のメンバーとなり、都市風景や労働者をテーマに造形の前衛を目指す。絵画、挿絵のほか、建築の壁画やステンドグラス、陶器、彫刻、映画も手がけた。

■ ポーラ美術館のコレクションについて

当館のコレクションはポーラ創業家二代目の鈴木常司が40数年にわたって収集したもので、西洋絵画、日本絵画、ガラス工芸、化粧道具など多岐にわたり、その数は1万点にのぼります。なかでも、コレクションの中核をなす西洋絵画は、19世紀後半から20世紀にかけて、フランスを中心とする近代絵画の流れをたどることができる作品群です。

■ ポーラ美術館について

2002年に神奈川県箱根町に開館。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しめる。

- ・開館時間：9:00-17:00(入館は16:30まで)
- ・休館日：無休(展示替えのための臨時休館あり)
- ・所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285
- ・TEL：0460-84-2111



<報道関係者お問合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当：田中、中西 TEL:0460-84-2111/ FAX:0460-84-3108
 ポーラ美術館広報事務局：屋木、名取 TEL:03-4570-3172/ FAX:03-4580-9128
 MAIL:polamuseum.pr@prap.co.jp